



2023年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2022年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 オリックス株式会社
コード番号 8591 URL <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/>
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 井上 亮
問合せ先責任者 (役職名) グループ経理部長 (氏名) 五十嵐 陽 TEL 03-3435-3000 (代表)
四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,364,816	9.9	149,133	△28.6	164,346	△25.6	121,776	△17.0
2022年3月期第2四半期	1,241,534	14.5	208,917	74.3	220,789	64.6	146,682	56.3

(注) 当社株主に帰属する四半期包括利益 2023年3月期第2四半期 171,831百万円 (0.2%) 2022年3月期第2四半期 171,510百万円 (94.7%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	102.52	102.40
2022年3月期第2四半期	121.12	121.00

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計（純資産）	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	14,786,006	3,451,221	3,344,812	22.6
2022年3月期	14,270,672	3,371,401	3,261,419	22.9

(注) 1. 株主資本は米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を記載しています。

2. 株主資本比率は、当社株主資本合計を用いて算出しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	39.00	—	46.60	85.60
2023年3月期	—	42.80	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	42.80	85.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%
2023年3月期	250,000	△19.9

(注) 直近に公表されている連結業績予想からの修正の有無：有
詳細につきましては、【添付資料】7ページ「今後の見通し」をご覧ください。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	1,258,277,087株	2022年3月期	1,258,277,087株
------------	----------------	----------	----------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	76,368,512株	2022年3月期	62,914,027株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	1,187,884,502株	2022年3月期2Q	1,211,057,955株
------------	----------------	------------	----------------

(注)2023年3月期第2四半期連結会計期間末および2022年3月期連結会計年度末において、役員報酬BIP信託（役員報酬のうち、将来支給する株式報酬に充当するもの）として保有する当社株式、それぞれ2,849,782株および1,963,282株は、期末自己株式数に含めていませんが、1株当たり情報の算出において控除する自己株式として含めています。

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいていますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。これらの将来に関する記述に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

将来に関する記述と異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社が関東財務局長に提出しています有価証券報告書の「事業等のリスク」、アメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出していますForm 20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」に記載されていますが、これらに限られるものではありません。

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算の概況	2
(1) 連結経営成績	2
(2) 連結財政状態	8
2. 四半期連結財務諸表等	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書	10
(3) 四半期連結包括利益計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報	12
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算の概況

(1) 連結経営成績

第2四半期連結累計期間の経営成績

		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率
営業収益	(百万円)	1,241,534	1,364,816	123,282	10%
営業費用	(百万円)	1,032,617	1,215,683	183,066	18%
税引前四半期純利益	(百万円)	220,789	164,346	△56,443	△26%
当社株主に帰属する四半期純利益	(百万円)	146,682	121,776	△24,906	△17%
1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益（基本的）	(円)	121.12	102.52	△18.60	△15%
（希薄化後）	(円)	121.00	102.40	△18.60	△15%
ROE （当社株主資本・当社株主に帰属する 四半期純利益率、年換算）	(%)	9.5	7.4	△2.1	—
ROA （総資本・当社株主に帰属する 四半期純利益率、年換算）	(%)	2.14	1.68	△0.46	—

（注）ROEは、米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を用いて算出しています。

業績総括（2022年4月1日から2022年9月30日まで）

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、有価証券売却・評価損益および受取配当金が減少したものの、サービス収入や商品および不動産売上高、生命保険料収入および運用益が増加したため、前年同期の1,241,534百万円に比べて10%増の1,364,816百万円になりました。

営業費用は、生命保険費用やサービス費用、商品および不動産売上原価が増加したため、前年同期の1,032,617百万円に比べて18%増の1,215,683百万円になりました。

また、持分法投資損益は前年同期の5,399百万円に比べて23%増の6,624百万円になりました。子会社・関連会社株式売却損益および清算損は前年同期の6,473百万円に比べて33%増の8,589百万円になりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の税引前四半期純利益は、前年同期の220,789百万円に比べて26%減の164,346百万円、当社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の146,682百万円に比べて17%減の121,776百万円になりました。

セグメント別動向

当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、前年同期に比べて26%減の169,952百万円となりました。

2022年4月1日より、これまでセグメント利益と四半期連結財務諸表との調整額に含めていた支払利息と販売費および一般管理費の一部を各セグメントに配賦する方法に変更しています。これらの変更により、前第2四半期連結累計期間のセグメント数値を組替再表示しています。

各セグメントの当第2四半期連結累計期間の動向は以下のとおりです。

法人営業・メンテナンスリース：金融・各種手数料ビジネス、自動車および電子計測器・ICT関連機器などのリースおよびレンタル

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	46,263	35,482	△10,781	△23

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第2四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	1,516,795	1,476,243	△40,552	△3

セグメント利益は、前年同期に投資先の上場に伴い有価証券売却・評価損益および受取配当金を計上した反動および前第4四半期連結会計期間に行った弥生株式会社の事業の売却に伴いサービス収入が減少したことにより、前年同期に比べて23%減の35,482百万円になりました。

セグメント資産は、リース純投資、営業貸付金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて3%減の1,476,243百万円になりました。

不動産：不動産開発・賃貸・管理、施設運営、不動産のアセットマネジメント

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	23,031	18,949	△4,082	△18

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第2四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	910,101	907,859	△2,242	△0

セグメント利益は、運営施設のサービス収入が増加したものの、賃貸不動産の売却益が減少したことによりオペレーティング・リース収益が減少したこと、および株式会社大京およびその子会社の商品および不動産売上高が減少したことにより、前年同期に比べて18%減の18,949百万円になりました。

セグメント資産は、棚卸資産が増加したものの、オペレーティング・リース投資が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて横ばいの907,859百万円になりました。

事業投資・コンセッション：企業投資、コンセッション

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	1,614	3,905	2,291	142

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第2四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	353,581	370,091	16,510	5

セグメント利益は、コンセッションにおいて関西3空港からの持分法投資損失が減少したことにより、前年同期に比べて142%増の3,905百万円になりました。

セグメント資産は、一部の投資先の事業用資産が減少したものの、子会社の取得に伴い投資有価証券や営業権、企業結合で取得した無形資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて5%増の370,091百万円になりました。

環境エネルギー：国内外再生可能エネルギー、電力小売、省エネルギーサービス、ソーラーパネル・蓄電池販売、廃棄物処理

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	9,502	10,582	1,080	11

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第2四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	703,608	772,944	69,336	10

セグメント利益は、スペインの再生可能エネルギー事業子会社からの利益貢献により、前年同期に比べて11%増の10,582百万円になりました。

セグメント資産は、主に為替影響で関連会社投資、事業用資産前渡金や事業用資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて10%増の772,944百万円になりました。

保険：生命保険

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	32,322	13,007	△19,315	△60

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第2四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	2,072,145	2,052,684	△19,461	△1

セグメント利益は、保険契約の増加に伴い生命保険料収入および運用益が増加したものの、給付金の支払いで生命保険費用が増加したことにより、前年同期に比べて60%減の13,007百万円になりました。

セグメント資産は、投資有価証券が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて1%減の2,052,684百万円になりました。

銀行・クレジット：銀行、消費性ローン

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	20,909	15,215	△5,694	△27

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第2四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	2,687,156	2,677,388	△9,768	△0

セグメント利益は、オリックス銀行株式会社において前年同期に有価証券売却・評価損益および受取配当金を計上した反動、ならびにオリックス・クレジット株式会社において当期に広告宣伝費が増加したことにより、前年同期に比べて27%減の15,215百万円になりました。

セグメント資産は、前連結会計年度末に比べて横ばいの2,677,388百万円になりました。

輸送機器：航空機投資・管理、船舶関連投融资

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	369	10,649	10,280	—

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第2四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	684,098	752,565	68,467	10

セグメント利益は、Avolon Holdings Limitedからの持分法投資損益が増加したこと、および船舶関連事業と航空機関連事業においてオペレーティング・リース収益が増加したことにより、前年同期の369百万円に比べて10,280百万円増の10,649百万円になりました。

セグメント資産は、主に為替影響で関連会社投資が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて10%増の752,565百万円になりました。

ORIX USA：米州における金融、投資、アセットマネジメント

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	47,094	21,596	△25,498	△54

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第2四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	1,364,142	1,624,316	260,174	19

セグメント利益は、主に前年同期に投資先の売却等で有価証券売却・評価損益および受取配当金を計上したことの反動により、前年同期に比べて54%減の21,596百万円になりました。

セグメント資産は、主に為替影響により、前連結会計年度末に比べて19%増の1,624,316百万円になりました。

ORIX Europe：グローバル株式・債券のアセットマネジメント

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	28,458	16,419	△12,039	△42

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第2四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	401,869	409,463	7,594	2

セグメント利益は、市況の悪化に伴い、受託資産の平均残高の減少によりサービス収入が減少したこと、有価証券売却・評価損益および受取配当金が減少したことにより、前年同期に比べて42%減の16,419百万円になりました。

セグメント資産は、投資有価証券が減少したものの、主に為替影響により、前連結会計年度末に比べて2%増の409,463百万円になりました。

アジア・豪州：アジア・豪州における金融、投資

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	19,942	24,148	4,206	21

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第2四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	1,306,089	1,399,094	93,005	7

セグメント利益は、有価証券売却・評価損益および受取配当金が減少したものの、韓国・豪州におけるオペレーティング・リース収益が増加したことにより、前年同期に比べて21%増の24,148百万円になりました。

セグメント資産は、中華圏における営業貸付金が減少したものの、主に為替影響により、前連結会計年度末に比べて7%増の1,399,094百万円になりました。

今後の見通し

新型コロナウイルス感染拡大の長期化、ロシア・ウクライナの問題、世界的なインフレ圧力、米欧による金融引き締め、各国における景気悪化の懸念など、今後の事業環境を予測するのは困難な状況ですが、上半期の業績等を踏まえつつ、下半期の各セグメントの事業活動に関して現時点で入手可能な情報を前提として、通期業績見通しを開示しました。

なお、本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいていますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。これらの将来に関する記述に依拠することはお控えくださるようお願い致します。

将来に関する記述と異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社が関東財務局長に提出しています有価証券報告書の「事業等のリスク」、アメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出していますForm 20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」に記載されていますが、これらに限られるものではありません。

（2）連結財政状態

資産、負債、株主資本の状況

	前連結会計 年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増減	増減率
総資産 (百万円)	14,270,672	14,786,006	515,334	4%
（うち、セグメント資産）	11,999,584	12,442,647	443,063	4%
負債合計 (百万円)	10,899,271	11,333,820	434,549	4%
（うち、長短借入債務）	4,866,685	5,410,385	543,700	11%
（うち、預金）	2,276,158	2,252,295	△23,863	△1%
当社株主資本 (百万円)	3,261,419	3,344,812	83,393	3%
1株当たり当社株主資本 (円)	2,732.88	2,836.85	103.97	4%

（注）1. 株主資本は米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を記載しています。

2. 1株当たり株主資本は、当社株主資本合計を用いて算出しています。

総資産は、現金および現金等価物が減少した一方で、その他資産や営業貸付金、関連会社投資が増加したことで、前連結会計年度末に比べて4%増の14,786,006百万円になりました。また、セグメント資産は、前連結会計年度末に比べて4%増の12,442,647百万円になりました。

負債については、支払手形、買掛金および未払金や未払法人税等が減少した一方で、短期借入債務や長期借入債務、保険契約債務および保険契約者勘定が増加したことで、前連結会計年度末に比べて4%増の11,333,820百万円になりました。

当社株主資本は、前連結会計年度末から3%増の3,344,812百万円になりました。

2. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表（米国会計基準）

（単位：百万円）

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2022年9月30日)		前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2022年9月30日)
現金および現金等価物	954,827	925,965	短期借入債務	439,639	461,673
使途制限付現金	136,985	120,056	預金	2,276,158	2,252,295
リース純投資	1,057,973	1,082,943	支払手形、買掛金および未払金	291,422	248,523
営業貸付金	3,862,604	3,980,231	保険契約債務および保険契約者勘定	1,963,623	2,049,300
(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した下記の金額を含む)			(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した下記の金額を含む)		
2022年3月31日	151,601百万円		2022年3月31日	198,905百万円	
2022年9月30日	215,774百万円		2022年9月30日	170,177百万円	
信用損失引当金	△69,459	△66,975	未払法人税等	461,181	315,657
オペレーティング・リース投資	1,463,202	1,466,487	長期借入債務	4,427,046	4,948,712
投資有価証券	2,852,349	2,911,282	その他負債	1,040,202	1,057,660
(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した下記の金額を含む)					
2022年3月31日	19,353百万円		(負債合計)	10,899,271	11,333,820
2022年9月30日	25,568百万円				
(下記の売却可能負債証券の償却原価と 信用損失引当金を含む)			償還可能非支配持分	—	965
2022年3月31日			契約債務および偶発債務		
償却原価	2,276,425百万円				
信用損失引当金	△153百万円				
2022年9月30日					
償却原価	2,514,538百万円				
信用損失引当金	△172百万円				
事業用資産	561,846	564,655	資本金	221,111	221,111
関連会社投資	978,033	1,106,570	資本剰余金	260,479	260,880
受取手形、売掛金および未収入金	359,949	356,894	利益剰余金	2,909,317	2,975,389
棚卸資産	139,563	154,565	その他の包括利益累計額	△16,041	34,014
社用資産	240,421	246,380	自己株式（取得価額）	△113,447	△146,582
その他資産	1,732,379	1,936,953	(当社株主資本合計)	3,261,419	3,344,812
(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した下記の金額を含む)			非支配持分	109,982	106,409
2022年3月31日	5,214百万円		(資本合計)	3,371,401	3,451,221
2022年9月30日	5,702百万円				
資産合計	14,270,672	14,786,006	負債・資本合計	14,270,672	14,786,006

(注) その他の包括利益累計額内訳

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末
未実現有価証券評価損益	△72,892	△216,759
金融負債評価調整	221	281
確定給付年金制度	△8,072	△8,390
為替換算調整勘定	61,914	239,035
未実現デリバティブ評価損益	2,788	19,847
	△16,041	34,014

(2) 四半期連結損益計算書（米国会計基準）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
営業収益		
金融収益	137,191	153,151
有価証券売却・評価損益および受取配当金	45,744	△746
オペレーティング・リース収益	227,933	249,144
生命保険料収入および運用益	232,797	263,211
商品および不動産売上高	230,655	265,020
サービス収入	367,214	435,036
営業収益計	1,241,534	1,364,816
営業費用		
支払利息	33,432	51,473
オペレーティング・リース原価	159,578	164,841
生命保険費用	174,215	222,493
商品および不動産売上原価	204,182	232,209
サービス費用	223,630	267,774
その他の損益	△10,558	6,941
販売費および一般管理費	245,884	267,954
信用損失費用	2,106	1,674
長期性資産評価損	88	253
有価証券評価損	60	71
営業費用計	1,032,617	1,215,683
営業利益	208,917	149,133
持分法投資損益	5,399	6,624
子会社・関連会社株式売却損益および清算損	6,473	8,589
税引前四半期純利益	220,789	164,346
法人税等	68,070	38,737
四半期純利益	152,719	125,609
非支配持分に帰属する四半期純利益	6,037	3,821
償還可能非支配持分に帰属する四半期純利益	—	12
当社株主に帰属する四半期純利益	146,682	121,776

（3）四半期連結包括利益計算書（米国会計基準）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
四半期純利益	152,719	125,609
その他の包括利益		
未実現有価証券評価損益	8,320	△143,867
金融負債評価調整	△61	60
確定給付年金制度	149	△316
為替換算調整勘定	14,932	185,095
未実現デリバティブ評価損益	2,170	18,531
その他の包括利益 計	25,510	59,503
四半期包括利益	178,229	185,112
非支配持分に帰属する四半期包括利益	6,719	13,181
償還可能非支配持分に帰属する四半期包括利益	—	100
当社株主に帰属する四半期包括利益	171,510	171,831

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報 (米国会計基準)

事業の種類別セグメント情報

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2022年9月30日)
	セグメント収益	セグメント利益	セグメント収益	セグメント利益	セグメント資産	セグメント資産
法人営業・ メンテナンスリース	230,275	46,263	211,427	35,482	1,516,795	1,476,243
不動産	202,514	23,031	190,487	18,949	910,101	907,859
事業投資・ コンセッション	192,150	1,614	250,873	3,905	353,581	370,091
環境エネルギー	63,898	9,502	110,914	10,582	703,608	772,944
保険	235,088	32,322	265,870	13,007	2,072,145	2,052,684
銀行・クレジット	43,097	20,909	40,944	15,215	2,687,156	2,677,388
輸送機器	17,748	369	28,496	10,649	684,098	752,565
ORIX USA	84,988	47,094	79,932	21,596	1,364,142	1,624,316
ORIX Europe	101,104	28,458	89,836	16,419	401,869	409,463
アジア・豪州	71,705	19,942	92,434	24,148	1,306,089	1,399,094
セグメント計	1,242,567	229,504	1,361,213	169,952	11,999,584	12,442,647
四半期連結財務諸表(連 結財務諸表)との調整	△1,033	△8,715	3,603	△5,606	2,271,088	2,343,359
連結合計	1,241,534	220,789	1,364,816	164,346	14,270,672	14,786,006

- (注) 1. 当社の業績評価は、税引前四半期純利益に税効果控除前の非支配持分に帰属する四半期純利益および償還可能非支配持分に帰属する四半期純利益を加減しています。なお、セグメント利益には税金費用は含まれていません。
2. 2022年4月1日より、これまでセグメント利益と四半期連結財務諸表との調整額に含めていた支払利息と販売費および一般管理費の一部を各セグメントに配賦する方法に変更しています。これらの変更により、前第2四半期連結累計期間のセグメント数値を組替再表示しています。
3. セグメント間の取引を各セグメント収益に含めて計上し、その消去を四半期連結財務諸表との調整に含めて計上しています。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。